

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や診断に用いた肝組織プレパラートを使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや肝組織プレパラートを利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

免疫チェックポイント阻害薬による肝障害

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院第3内科

【研究責任者】 阿部雅則（第3内科准教授）

【研究代表者】 大平弘正（福島県立医科大学学部消化器内科学講座教授）

【研究の目的】

過去に受診された免疫チェックポイント阻害薬による肝障害患者さんの診療録（カルテ）と診断に用いた肝組織プレパラートの情報を収集し、診断方法を評価する研究を行うことといたしました。この研究は免疫チェックポイント阻害薬による肝障害における有効な診断方法と病態解明の検討を目的としたものであり、今後の診療にも役立つことができると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん） 2014年9月から2019年8月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち免疫チェックポイント阻害薬による肝障害と診断された患者さん

（利用するカルテ情報） 年齢、性別、体重、基礎疾患、治療薬剤、治療前後の血液検査成績、治療経過、転帰、等

（利用する試料） 診断に用いた肝組織プレパラート

【共同研究について】

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんのデータ/試料は、匿名化されて、CD-R に保存した電子ファイルとデジタル化したデータにて肝組織プレパラート情報を郵送することによって福島県立医科大学に送られます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<試料・情報の管理責任者>

福島県立医科大学消化器内科学講座 大平弘正教授

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院第3内科 阿部雅則

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5308